

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 212-0013
 住 所 神奈川県川崎市幸区堀川町580
 氏 名 ソリッドスクエア管理組合
 代表者 長野 二郎

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ソリッドスクエア管理組合		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 幸区堀川町580		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	5,734	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名	
		所 在 地	
		電話番号	
		F A X 番号	
		メールアドレス	

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

次の方針により、積極的な地球温暖化対策を進めていく。

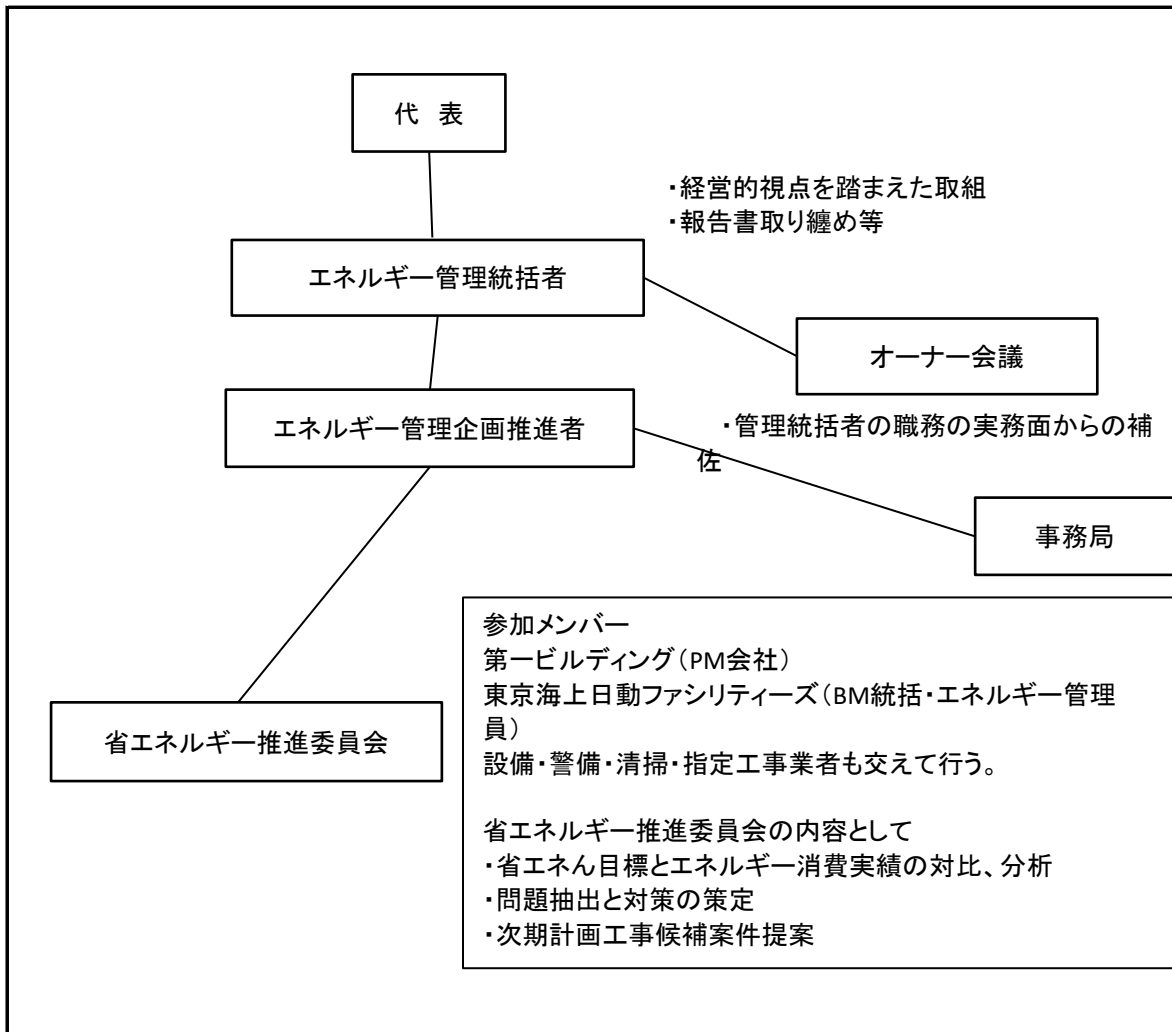
- 1 ソリッドスクエアエネルギー管理標準に基づいた省エネルギー施策の推進
- 2 設定した目標の確実な実施

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

次の方針により、適切な進行管理を行う。

- 1 月に一度省エネ推進委員会を開催し、ビル全体での省エネ対策の協議を行う。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2021 年度	
目標	年度	2024 年度	
基準	排出量	(実) 10,355 (調) 10,276 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
目標	排出量	(実) 10,044 (調) t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
削減量		(実) 311 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実) 311 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 0 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削減率		(実) 3.0 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		特殊面積	
原単位の単位		t-CO ₂ /万㎡	
基準年度の値		0.1513	
目標年度の値		0.1467	
削減率		3.0 %	

ウ 目標設定に関する説明

<p>排出量・原単位ともに、年平均1%の削減を目標とし、以下の手段で実行していく。 ① ビル全体で老朽化した設備をより省エネ性能の高い機器に更新していく。 ② より省エネにつながる運用方法を実施する。 ③ 各テナントに協力要請をし、ビル内の省エネの意識付けを行う。 コロナ禍で現状推移について読めない部分もあるため、3年間で削減率は3%とした。 2025年以降大型の熱源機器のリニューアルを進めていく予定となっている為、将来に向けて省エネに適した最適な方法を含めて検討していく。</p>
--

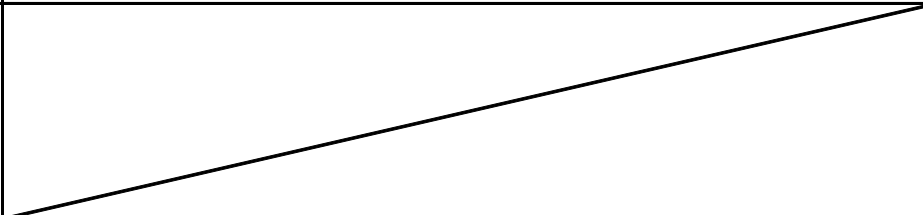
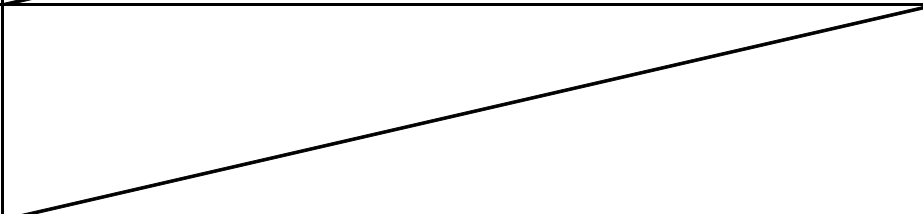
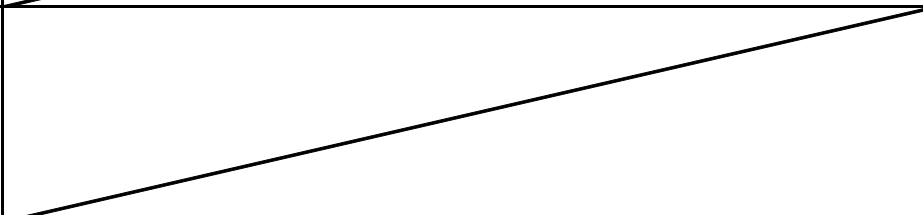
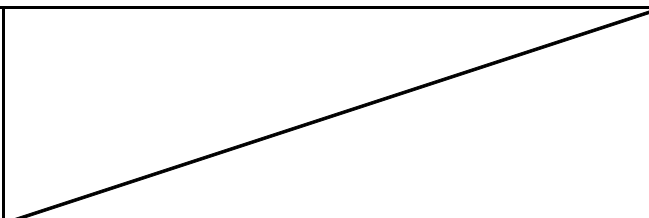
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>2025年より熱源機器の更新も含めて検討しており、2022年～2024年までは準備期間と捉え引き続き温室効果ガスの削減を意識して対応していく。 ○各種設備の運転時間短縮：下記の機器を対象に運転時間の短縮を検討。 ・共用部給排気ファン ・空調機 ・蒸気ボイラー ・各種熱源機 ○夏期・冬期における外気導入量の抑制 ・CO2制御の設定値を再度検討し、熱負荷となる外気の導入量を制御。 ○共用部照明のLED化 ・消費電力の少ないLED照明を導入することにより省エネを図る。 ○熱源機器のオーバーホールの実施 ・各熱源機器のオーバーホールを行い、熱源生産の効率化を図る。 ○パッケージ型空調機更新 ・消費電力の少ないパッケージ型空調機への更新により省エネを図る。 ○空気調和設備の効率化 ・アトリウム等、大空間系統の空調設備の稼働台数調整 ・季節変動に応じた冷却水温度・冷水送水温度の最適化 ・運転効率の高い熱源機器の優先起動</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

- ・計画的にPACを更新しつつあり、更新部分に関して消費電力を削減した。
- ・共用部の照明のLED化しつつあり、更新部分に関して消費電力を削減した。
- ・熱交換器をオーバーホールし、熱交換の効率を高めることでエネルギー使用量を削減した。
- ・各種ファンのVベルトを省エネVベルトへの交換し、消費電力を削減した。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光		
風力		
バイオマス		
未利用エネルギー		
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	該当事項なし。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の減量化・分別化の促進 2. 施設スタッフの公共交通機関使用の促進 3. 外構植栽の管理 4. 設備・清掃員のユニフォームエコ素材の使用
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	10,355	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

5,734	KL
-------	----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
ソリッドスクエア	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地	10,355 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂